

HIC通信

Hiroshima International Center

Vol. 82
October 2013

平成25年度 留学生奨学金決定通知書授与式・第1回交流会を開催しました

当センターでは、外国人留学生への支援の一環として、県内の大学や短期大学に在籍する私費留学生を対象に、「ひろしま国際センター留学生奨学金」の支給事業（月額3万円を1年間支給）を行っています。

今年度は、県内42の企業・団体からのご協力による「企業等協力留学生奨学金」を50名、県民の皆様からのご協力による「県民支援留学生奨学金」を2名、当センターの一般財源による「センター留学生奨学金」を8名、合計60名の留学生を奨学生として決定し、7月9日（火）に留学生奨学金決定通知書授与式・第1回交流会を開催しました。

授与式では、ご協力いただいた企業・団体の代表者から、奨学生一人ひとりに決定通知書が手渡されました。

また、20年・15年・10年の長きにわたり継続して奨学金事業にご協力いただいた7の企業・団体の代表者に、当センターの永野会長から感謝状が贈呈されました。

続いて、奨学生を代表して広島大学の呂 卓英（ロ タクエイ）さんが挨拶し、支援してくださる企業・団体及び県民の皆様への感謝の気持ちを抱きながら、奨学金を活用して自らの夢を実現しましょうと力強く語りました。

授与式に続いて行われた交流会では、奨学生はそれぞれ企業・団体の皆様と歓談し、支援に対する感謝の意を改めて伝えるとともに、より一層学業や就職活動、国際交流等の課外活動に力を注ぐことを誓いました。さらには、過去にこの奨学金を受け、現在、県内の企業に就職し活躍されている胡 灰（コ セン）さんから、先輩としての激励の言葉と企業や団体の皆様への感謝の気持ちが表され、会場が大きな拍手に包まれました。

この授与式と交流会を通じて、奨学生は皆それぞれの心に新たな気持ちと目標を刻んだことと思います。
ご協力をいただきました企業・団体の皆様、県民の皆様、誠にありがとうございました。



挨拶する 永野会長



奨学金決定通知書の授与



奨学生代表の挨拶をする呂さん



交流会でテーブルごとに記念撮影

◆目次

- 2面 交流部だより
- 7面 国際プラザニュース
- 8面 こちら JICA デスク
- 9面 サミット加盟団体だより

- 10面 國際交流団体主催イベントのご案内
- 11面 Hello Hiroshima
- 12面 Hiroshima Calendar ほか

今年度「企業等協力留学生奨学金」へご協力をいただいた企業・団体は次のとおりです。

「企業等協力留学生奨学金」協力企業・団体一覧（50音順・敬称略）

株式会社 あじかん
株式会社 アスティ
株式会社 石崎本店
株式会社 いとや
株式会社 ウッドワン
株式会社 NTTドコモ中国支社
賀茂鶴酒造 株式会社
カルビー 株式会社 広島工場
国際ソロップチミスト ウエストひろしま
国際ソロップチミスト 広島
株式会社 第一学習社
株式会社 大創産業
一般財団法人 多山報恩会
株式会社 中国新聞社

中国電力 株式会社
株式会社 中国放送
株式会社 中電工
中電プラント 株式会社
株式会社 テレビ新広島
株式会社 東洋シート
トヨーエイテック 株式会社
南条装備工業 株式会社
西川ゴム工業 株式会社
バブコック日立 エコーラブ
広島ガス 株式会社
株式会社 広島銀行
社団法人 広島県医師会
財団法人 広島国際文化財団

広島信用金庫
広島テレビ放送 株式会社
広島電鉄 株式会社
株式会社 広島東洋カープ
株式会社 広島ホームテレビ
株式会社 福屋
株式会社 プローバ
マツダ 株式会社
株式会社 マツダE&T
マツダエース 株式会社
マツダロジスティクス 株式会社
三島食品 株式会社
株式会社 もみじ銀行
株式会社 モルテン

合計 42企業・団体

連続ご協力企業・団体のご紹介

（敬称略）



カルビー 株式会社広島工場 様(右)と当センター永野 会長(左)



広島信用金庫 様(右)と当センター永野 会長(左)

20年連続 カルビー 株式会社 広島工場 広島信用金庫

15年連続 国際ソロップチミスト ウエストひろしま

10年連続 社団法人 広島県医師会 株式会社 マツダE&T マツダエース 株式会社
マツダロジスティクス 株式会社

県民の皆さんへ

県民支援留学生奨学金制度のご案内

県民の皆さんからのご寄附(1口 年間 5,000円, 何口でも可)をもとに奨学金の支給を行っています。

皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

多文化共生ボランティア育成講座

～ボランティア英語通訳ガイド講習会（平和公園編）を開催～

7月20日（土），当センターの交流ホールで，ボランティア英語通訳ガイド講習会（平和公園編）を開催しました。

この講習会は，当センター登録の多文化共生ボランティア（通訳・ガイド，翻訳）

のためのもので，昨年の「宮島編」に続き，通訳ガイドの機会の多い「平和公園」を素材に，講師に多くの通訳ガイドの実績のある，ひろしま通訳・ガイド協会理事の畠崎雅子さんを迎えて企画したものです。

独自の指導方法でも定評のある畠崎さんが講師ということもあり，講座当日は，当センター登録のボランティアはもちろんのこと，ボランティア以外の方々の多数の参加もあり，大変盛況で有意義なものとなりました。

前半部は，平和公園の写真をプロジェクターで投影しながら，日本語と英語を使って実際の通訳ガイドを行う形式で進められ，原爆ドームや平和公園建設における歴史的背景から公園内にある数々のモニュメントや樹木の解説などもあって，参加者全員が熱心に聞き入るものとなりました。

また，後半部では「はだしのゲン」などの英語の平和教材に関する紹介や英語学習者のための有効な勉強法まで話が広がったほか，ワークショップ形式による意見交換も行われ，会場は終始和やかなムードに包まれていました。

講習会を終え，それぞれの帰路につかれた参加者のみなさんの満足した表情が大変印象的でした。

来年度の企画もどうぞご期待ください。（野口）



畠崎講師



講座風景（講義）



講座風景（ワークショップ）



原爆ドーム



平和の鐘



被爆したアオギリの木

～通訳・ガイド，翻訳ボランティア募集（随時受付）～

国際交流事業をはじめとする様々な行事やイベントなどで，通訳やガイド，翻訳にご協力いただくボランティアを随時募集しています。

応募資格は，熱意のある個人及び団体で，外国語について日常会話以上の語学力をお持ちの満18歳以上の方です。

みなさんの語学力を地域の中で活かしてみませんか？ ご関心のある方は，当センターのホームページにてご確認ください。（野口）

「平成25年度 多文化共生担当職員研修」を開催

6月28日（金）に「平成25年度 多文化共生担当職員基礎研修会」を、8月6日（火）、7日（水）に「平成25年度 多文化共生担当職員第1回テーマ別研修会」を開催しました。

これらの研修会は、県内の各市町や市町国際交流協会で多文化共生の業務に従事している職員の方を対象に実施している研修会です。

基礎研修会では、11市町と当センター職員から27名が参加し、外国人ゲスト5名を迎えるながら、外国人とコミュニケーションを取る上で必要となる「やさしい日本語」をテーマに皆で考え、共に学習しあえた、とても有意義で楽しい研修会となりました。

また、第1回テーマ別研修会については、「日本語学習を必要とする児童・生徒の諸問題」について、東京外国语大学留学生日本語教育センター長の伊東祐郎さんと、福山市や呉市で地域の日本語教室に携わっておられる客本牧子さん、伊藤美智代さんを講師として迎え、福山市と広島市でそれぞれ開催しました。

なお、両会場には10市町延べ36名の関係職員が参加し、外国人が日本語を学ぶ上で障壁となることや未就学児童の問題点などに熱心に耳を傾けていました。

今回のテーマ別研修会の内容にもありました外国人児童・生徒の諸問題については、国際交流担当をはじめ、学校教育や住民生活などの様々な担当セクションがこれまで以上に連携し協力しながら、その改善に向けて取り組んでいく必要があると改めて認識しました。（大藤）



講義の様子



ワークショップに取り組む参加者

広島中央、備北、備後で「国際交流サミット地域分科会」を開催

7月26日（金）に「広島中央地域分科会」を東広島市で、7月29日（月）に「備北地域分科会」を三次市で、8月6日（火）に「備後地域分科会」を福山市でそれぞれ開催しました。

この地域分科会は、各地域の国際交流団体をはじめ、関係市町や大学等の担当者にお集まりいただき、それぞれの地域における国際交流に関する情報や活動を推進する上での課題等について協議・意見交換等を行うものです。

なお、各分科会では、地域の活動を支えるボランティアの確保やネットワークの構築の必要性、日本語学習の指導者不足、未就学児問題などの様々な課題について、その改善・解決に向けた議論が活発に行われました。

11月には、これらの議論を踏まえた全体研究会を行う予定です。（河岡）



広島中央地域分科会（東広島市）



備後地域分科会（福山市）



備北地域分科会（三次市）

～ピース・フィールドに出展しました～

「国際平和拠点ひろしま構想」が掲げる世界平和の実現に向けた様々なプロジェクト「ピース・アーチ・ひろしま」の一環として、ハノーバー広場（広島市中区）で開催された「ピース・フィールド」に当センターも参加し、8月1日（木）から3日（土）までの3日間、専用のブースを開設して、県内外からの様々な来場者や平和貢献活動に取り組んでいる各種団体の関係者と交流・情報交換を行いました。

ブースでは、通訳・ガイドやワンペア学習のボランティアの募集受付から留学生支援の様々な取組等の紹介、「やさしい日本語」のパネル展示のほか、子ども向けの世界のあいさつクイズを行うなど、3日間で約150名の方に来場していただきました。ご来場の皆様、どうもありがとうございました。

今後も、このような活動を通じて、国際交流の輪を広げていきたいと考えております。（河内）



ブースの様子



世界のあいさつクイズに挑戦中

～HIC新国際交流員紹介～

①名前（フリガナ）：トレバー スワン / Trevor Swan
国籍：アメリカ

②日本語を学んだきっかけ

中学校の時、ある有名な漫画を読み始めました。みなさんも、その漫画の名前を知っていますよね？ そうです！ ドラゴンボールです！ その漫画を読んでから日本をもっと知りたいと思って、高校で日本語の授業を受け始めました。そして、大学院まで日本と日本語を勉強し続けてきました。JETプログラムに参加したとき、自然がきれいで、食べ物もおいしいと聞いていた広島に行こうと思いました。

③専門相談日時

毎週木曜日 10:00～12:00, 13:00～16:00



④ひと言

こんにちは、皆さん！ 国際センターの新しい国際交流員、トレバー・スワンと申します。ギョーム・ラモテさんの後任です。アメリカのデトロイト市からきました。

広島に住むのは初めてですが、日本に来るのは初めてではありません。七週間だけでしたが、金沢工業大学で留学したことがあります。

皆さん、これからもよろしくお願ひします。

こちら留学生活躍支援センターです ~県内の外国人留学生のみなさんの活躍を支援しています~

留学生合同企業説明会を開催しました

7月12日（金）に広島県立総合体育館で平成25年度第1回留学生合同企業説明会を開催しました。

この説明会は、留学生に特化した企業説明会としては中・四国地区最大規模で、外国人留学生の採用を検討する県内の企業35社の出展がありました。

当日は、炎天下にも関わらず、県内外から広島で就職を希望する多数の留学生が参加し、それぞれが目標とする企業ブースを次々と訪問しながら企業の担当者の説明に耳を傾けていました。

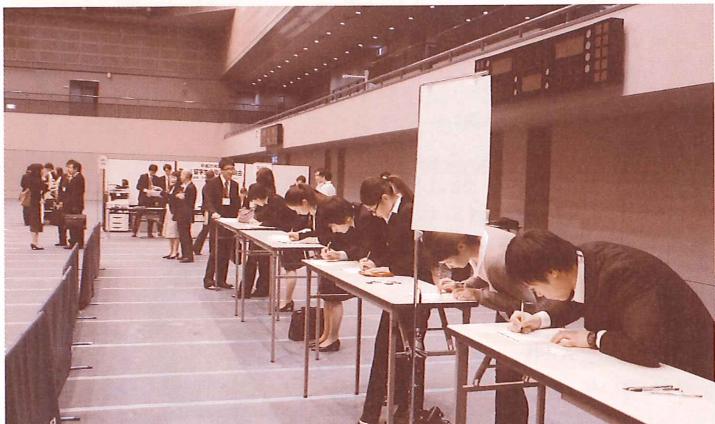
◆ 開催日時：平成25年7月12日（金）13：30～17：00
(会場：広島県立総合体育館 小アリーナ)

◆ 出展企業：35社

製造業11社、卸・小売業5社
情報・通信業4社、建設・不動産関連業4社
学術研究・専門技術サービス業4社
教育・福祉業2社
その他サービス業5社

◆ 参加学生：105名

県内91名（16校）、県外14名（5校）
文系77名、理系28名



《 これからの予定 》

◆ 就職活動実践セミナー

11月に、これから就職活動を開始する学部3年、修士1年の留学生を対象とした就職活動実践セミナーを、広島・東広島・福山の3地域でインターバル（2回）開催します。

このセミナーの目的は、「会社選び」から「履歴書の書き方」「面接・筆記試験対策」など、就活に必要な実践的スキルと知識の習得をすることです。

◆ 留学生用セミナー・交流サロン

6月の開催に続き、12月初旬に第2回の留学生用セミナーを開催する予定です。

このセミナーの目的は、県内企業に対して留学生を活用したグローバル戦略や先進事例の紹介を行い、併せて外国人留学生採用企業の掘り起しを行うことです。

【遊びを通して世界が見える！！ 出前講座】

8月7日（水），東広島市の高屋西いきいきこどもクラブで，世界各国の遊びを体験して，文化の多様性を学ぶ出前講座を行いました。

小学校1年生から3年生までの元気いっぱいの子ども達90名が，留学生が教えてくれる母国の遊びに熱中しました。

- マラウイの「ブンブエ」～「猛獣狩りにいこうよ」のような遊び
- イランの「ジャーギリー」～イス取りゲーム
- インドネシアの「クチン ダン ティクス」～ねずみと猫の鬼ごっこ
子ども達のあふれんばかりの笑顔に出会うことができました。



*HIC研修部は，東広島市の「生涯学習まちづくり出前講座」に6つのメニューを登録して，地域づくりを支援しています。



マラウイの「ブンブエ」



イランの「ジャーギリー」



インドネシアの「クチン ダン ティクス」

外国人に通じやすい日本語・・・「やさしい日本語」の職場内研修を実施しました

皆さんは「やさしい日本語」をご存知でしょうか？

日本に住んでいる外国人の多くは，日常生活には困らない程度に日本語を話すことはできることでしょう。しかし，いざ，きちんと日本語を学ぶとなると，私たち日本人が普段使っている日本語は，外国人にとって，少し難しく感じられることが多いのではないでしょうか。同じ日本語でも一文を短くする，単語や表現をやさしくするなど，少し工夫をすることで会話を通じやすくすることができます。このように，外国人にわかりやすい日本語のことを「やさしい日本語」といいます。

今回，6月にひろしま国際プラザで，この「やさしい日本語」についての職場内研修を実施しました。

研修では，HIC日本語専任講師が，「やさしい日本語」で話すコツや，外国人と会話をする上で注意すべき点などについて講義を行った後，実践練習を行いました。外国人役とHIC職員役の職員がペアになり，役割が書いてあるカードに沿って日本語を「やさしい日本語」に言い換えて会話をしました。その中で，どうすれば「やさしい日本語」になるのか考え込む職員やどうしても難しい言葉を使ってしまう職員など，普段は無意識に使っている言葉をやさしく言い換えることに奮闘していました。

今回，「やさしい日本語」で実際に会話をしてみて，私たちが普段使っている日本語が外国人にとっていかに難しい言葉なのか考えるきっかけとなつたと思います。

この研修がHICを訪れる外国人との円滑なコミュニケーションの助けになることを期待しています。

★お申込み・問合せ先

公益財団法人ひろしま国際センター研修部

〒739-0046 東広島市鏡山三丁目3-1 ひろしま国際プラザ内

（電話082-421-5900 FAX082-421-5751）

・事務室開室時間 月～金 9:00～17:45

・情報センター・図書室開室時間

毎日 10:30～19:00（平日12:30～13:30は休室）

URL : <http://hiroshima-ic.or.jp/hip/>

E-mail : hicc@hiroshima-ic.or.jp



広島から世界へ！ 9月下旬より,広島県出身の青年海外協力隊員3人が、ガーナ・モザンビーク・フィリピンの3ヵ国へ向けて出発します！

《青年海外協力隊》（※左から氏名・派遣国・職種）

加藤 麻衣子	ガーナ	服飾
新村 桂	モザンビーク	青少年活動
里永 章	フィリピン	農業協同組合

※昭和40年から平成25年8月末までの、広島県出身 青年海外協力隊派遣累計… 849人

現在赴任中の広島県出身 JICAボランティア(人)

区分	男性	女性	合計
青年海外協力隊	14	22	36
シニア海外ボランティア	16	0	16
日系社会青年ボランティア	0	0	0
日系社会シニアボランティア	0	1	1

平成 25 年 8 月 30 日時点

相手の心に響く魔法の言葉

JICA国際協力推進員（広島県JICAデスク）大塚善久

2013年7月のある日。広島市内を自転車で移動していた私は、喉が乾き、通りがかった一軒の個人商店に立ち寄った。6畳ほどの昔ながらの店の前には、木製の椅子に座った優しそうな女性があり、どうやら彼女が一人で店を切り盛りしているようだった。「暑いですね」などと会話を交わし、店内の商品を手に代金を支払おうとすると、レジの横に「7月末日をもって閉店します」という紙が貼られていることに気付いた。閉店の理由を尋ねたところ、30年以上に亘り営業を続けてきたが、ここ数年でタバコなどの売り上げも落ち、賃貸物件のため家賃支払いも厳しく、本当は続けたいが年齢のことも考えるとそろそろ潮時だと判断したらしい。不思議なことに、初めて入った店にも関わらず、彼女の気さくで朗らかな雰囲気と、その何気ない会話からは、これまで如何にお客さんを大切にし、地域に密着した営業を続けてきたことが容易に想像出来た。私はその状況に居心地の良さを感じ、他愛もない会話を楽しんだ。

かつては「物を売る側」の立場だった私は、閉店を決断した彼女に対して、おこがましくも何か無性に労いの言葉を掛けたくなった。飛び込み客である私がかけるべき労いの言葉は何だろう…。その時、私の脳裏に浮かんだのは、2007年からの2年間、青年海外協力隊員として過ごしたアフリカ・マラウイの任地サリマで個人商店を営む人々の日常の姿だった。彼らはいつも同じ場所で商売をし、地域のことなら人々のことも、起こった出来事も何でも知っていると、いつも自慢気に話していた。何かトラブルが起こった時、その解決役を買って出るのも彼らの役目だ。

そこで私は彼女に「30年以上もの間、地域を見守りながら、地域のために商売を続けて下さって、ありがとうございました」と伝えた。すると「そんなこと言ってもらえるなんて…嬉しい」と、驚いたように目に涙を浮かべたのだ。閉店を決断した彼女にとって、これまで商売を続けてきた誇りは、地域をずっと見守り続けたということだったのだろう。本人の強い想いに「言葉」がピタリと合ったからこそ、それは自らの存在が肯定され、涙が出るほど嬉しい瞬間だったのだろう。私は名残惜しくも店を後にしたが、自分の表情に自然と笑顔が溢れていることに気付いた。

「ちょっとした会話」の中にも、人間同士が偶然の接点の中で、お互いの存在を尊重し合える瞬間はある。日本でもその光景が不思議ではない時代があったはずだが、社会が成熟し、豊かで便利になるにしたがって、他人とのちょっとした会話が、必要な無いこととして避けられているように思う。他者を認める前向きな言葉が「擦れ違い」を「出会い」に変え、人の心を育み、それが結果的に良い人間関係づくり、社会づくり、地域づくりの原点になると私は信じている。「相手の心に響く魔法の言葉」に特殊能力など必要ではない。「相手が喜ぶこと、望んでいること」を考え、思いやりの心として伝えられるかどうかだ。日本人同士はもちろん、例えば外国人観光客が道に迷っていたり、日本語表示を読めないと、状況を目の当たりにした時に「自分には関係ない」と見過ごすか、わずか11語の「May I help you?」が「魔法の言葉」となって、その人が日本で経験した素晴らしい思い出として記憶として残ることもあるかも知れない。みなさんの周りにも、誰かを幸せな気分にさせる「魔法の言葉」がきっと溢れているはずですよ。



【JICAボランティア体験談＆説明会のお知らせ】

平成25年度のJICAボランティア秋募集に合わせて、広島県内では10/3より3ヶ所の会場で合計4回の「体験談＆説明会」を開催します。広島市内では、「広島市まちづくり市民交流プラザ」にて計2回、広島市以外では東広島市の「広島大学大学会館」、福山市の「まなびの館ローズコム」での開催となります。青年海外協力隊をはじめとする各ボランティアの制度説明に加え、経験者の体験談も実施します。是非お気軽に会場にお越しください。詳しくは、JICA中国のウェブサイトからご確認下さい。

<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/volunteer/setsumei/jocv.html>

広島インドネシア協会 Hiroshima-Indonesia Association

広島とインドネシア共和国との友好信頼関係を高めるとともに、両国間の文化の向上と経済の発展に寄与する交流の推進を目的として活動しています。

主な活動

総会及び
交流会

2013年6月11日（火）ANAクラウンプラザホテル広島にて理事会・総会・交流会を開催しました。

ご来賓に駐日インドネシア共和国大使館参事官アグス・ヘルヤナさまを迎えた、田村協会長の挨拶の後、全ての議案が承認されました。

交流会には約180の方にご参加いただき、介護福祉士資格を取得したお2人をお祝いし、留学生による伝統舞踏の披露などをおこない、盛況のうちに閉会となりました。



インドネシア
共和国
独立記念祭

2013年8月27日（火）リーガロイヤルホテル広島にて、インドネシア共和国独立記念祭を開催しました。

ご来賓に駐日インドネシア共和国大使館参事官リッキースヘンダール様ほかをお迎えし、会員や留学生約220人の方と一緒に68回目となる独立記念日をお祝いしました。インドネシアから来広された歌手・ドナさんによる歌の披露や、留学生によるパフォーマンスの他、帰国を迎える16人の留学生に記念品を贈呈しました。

2013年3月5日（火）、ホテルセンチュリー21広島にて、講師にマツダ・モーター・インドネシア（MMI）代表取締役社長 奥江敬三氏を迎え、「インドネシアにおける自動車市場の現状」をテーマに講演会を開催しました。交流会には約195名の方にご参加いただきました。

インドネシア語
講座

2013年は10月～12月全10回、広島市留学生会館にて開催予定です。



インドネシア
料理教室

2012年11月にガストピアセンターにて開催。今年度は2013年11月9日に開催予定です。



会報の発行 日本語・英語併用版 2013年1月15日 第23号 発行済

会員募集のご案内

年会費 個人会員 3,000円 法人会員 10,000円

※お問い合わせは事務局までお願いします。

【広島インドネシア協会事務局】

〒734-8555 広島市南区皆実町2-7-1 広島ガス株式会社 広報環境部内 TEL 082-252-3000

「留学生会館まつり2013」

「留学生会館まつり」は、(公財)広島平和文化センター国際部留学生会館が主催する年に一度の、留学生と市民との楽しいおまつりです。

留学生をはじめ在広の外国人と市民の皆さんとの交流を深めることなどを目的として開催します。

広島市内の大学等で約900人の留学生が勉学に励んでいます。当会館にはその内20カ国、110人の留学生とその家族が住んでいます。

母国文化や、習慣等を留学生自ら紹介するコーナー、踊りや歌・演奏等のミニイベント、屋外でのお国自慢料理屋台など、さまざまな「ふれあいの場」を企画しています。

ぜひお越しください。

日 時：11月3日(祝・日) 10時半～16時半 雨天決行 10時開場(予定)

場 所：広島市留学生会館(南区西荒神町1-1 JR広島駅南口から徒歩5分)

参加費：入場無料(屋台は有料)

内 容：各国屋台、留学生の国紹介、ミニイベント(踊り・歌)

お問い合わせ：広島市留学生会館 Tel082(568)5931

✉ info@i-house-hiroshima.jp

広島市留学生会館

検索



「第5回世界食料デー広島大会」

「世界を変える希望(子ども)のために・・・ハンガー・ゼロ(飢餓撲滅)を目指して」をテーマとして開催します。

主 催：世界食料デー広島大会実行委員会(共催)一般財団法人日本国際飢餓対策機構

日 時：10月6日(日) 15時～17時

場 所：広島女学院大学 ゲーンズチャペル(東区牛田東4-13-1)

参加費：無料(会場での募金のご協力をお願いします) 定員：200名

内 容：基調講演 日本国際飢餓対策機構 啓発総主事 田村 治郎

現地レポート 日本国際飢餓対策機構 広島事務所スタッフ エマ・トレール

音楽ゲスト ヴァイオリニスト 盛田 恵、ピアニスト 岡田ミサヨ

ゴスペルクワイア 三滝グリーンチャペル

お問い合わせ：事務局 中尾 Tel082(928)8071

<募金先> ボリビア：学校教育支援 ケニア：学校教育・給食支援 南スーダン：ルンベック学校教育・給食支援
パキスタン：カラーシャ族女子教育支援 フィリピン：プレイズエメラルド国際学校教育支援

Hello Hiroshima



vol 82
October 2013

Wrestling Gone from the
Olympics: Unfortunate
not Only for Japan, but for
Everybody

By Trevor Swan

Hello Hiroshima, I am the new writer for the Hello Hiroshima article, Trevor Swan. My hometown is Detroit, Michigan in the US. While I have studied Japanese for more than ten years, before coming here I only had seven weeks experience living in Japan. Speaking of Hiroshima, I guess I should write about how I ended up living and working here.

Although I majored in Illustration and Design, I studied abroad in Kanazawa, at the Kanazawa Institute of Technology as part of the Intensive Japanese for Science and Technology Program. More than studying in college, it was studying abroad that caused me to reevaluate my goals and eventually led me here to Hiroshima.

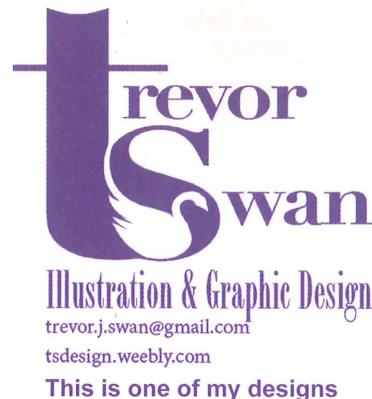


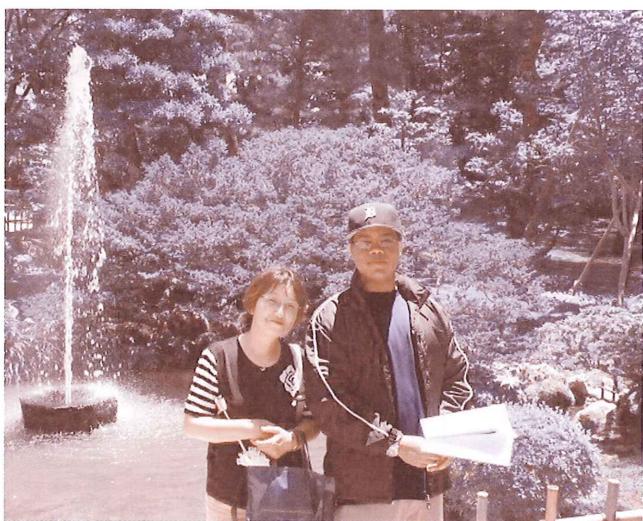
Illustration & Graphic Design

trevor.j.swan@gmail.com

tsdesign.weebly.com

This is one of my designs

After finishing school I wanted to gain more experience living and working in Japan. So I applied to the JET Program and got placed in Hiroshima, then they flew me out here to this beautiful prefecture. I have heard a lot of great things about Hiroshima, there are a lot of wonderful things to see, good food to eat, and nice people to meet. If my first week and a half is any indication, then all these things seem to be true.



When I arrived, I was first struck by how the mountains, rivers, trees and cities were all blended together. This is very different from what I saw at home in Detroit, a place where nature and people are generally kept separate. There are parks and trees, of course, and even the Detroit River that can be seen from downtown, but the addition of large forests and the mountain scenery blending naturally is very striking to me.

I am definitely looking forward to spending the next few years seeing more of what Hiroshima and Japan have to offer!

Hiroshima Calendar

Date	Event	Location
October 12 ~ 13	Sake – Matsuri A Japanese Sake Festival: Come and sample nearly 900 brands of regional sake and eat the famous dish, Bishu Nabe (a hot pot made with high-grade sake).	The festival is located on the south side of the JR Sajio Station.
November 1 ~ 3	Onomichi Beccha Matsuri Come and join the parade as the fierce gods Soba and Shiki guide a portable shrine around the city.	You can find this event throughout the Onomichi city.

Editor's notes:

There are some pretty cool events happening this fall, ranging from events where you sample a massive variety of sake, eat foods from all over the world and an event where you can parade the streets of Onomichi with fierce gods! I can almost guarantee you that they'll be a lot of fun! You can reach me at this email:

hic05@hiroshima-ic.or.jp

Upcoming Events News No.126

平成25(2013)年11月分

日	内 容
24 (日)	『広島県国際交流協会 11月講演会』 A video showing: The story of John Manjiro in English by a storyteller, Mr. Nanyo Kyokudo A presentation entitled "Cultural Exchange with Honolulu Club – Hawaiian hospitality with Aloha Spirit" will be given by Mr. Toshiro Inohara on November 24th, the fourth Sunday, at 1:00 PM in the Lounge. Before the speech, we will have a Karaoke lesson featuring the song "O Sole Mio." Following the song, the above-mentioned concern will be showed by Video. 時 間 13:00 ~ 場 所 ラウンジ 尾道市久保 3-14-18 問合先 広島県国際交流協会 松浦 Tel: 0848-37-3518 E-mail:matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

平成25(2013)年12月分

日	内 容
15 (日)	『広島県国際交流協会 年末ポトラックパーティー』 We will hold the year-end pot-luck party on December 15th, the third Sunday, at 12:00 noon in the Lounge. Please bring some food or drinks to the party. Let's enjoy eating, drinking, singing, and chatting together. 時 間 12:00 ~ 場 所 ラウンジ 尾道市久保 3-14-18 問合先 広島県国際交流協会 松浦 Tel: 0848-37-3518 E-mail: matsuuras2000@ybb.ne.jp URL: http://www.geocities.jp/matsuuras2000/

HIC交流部からのお知らせ

「カンボジア・スタディツアー」実施のお知らせ

HICでは、平和貢献人材育成事業の一環として、本年度も独立行政法人国際協力機構中国国際センター（JICA中国）と共同でカンボジア・スタディツアーを実施します。

今回で10回目となるこのツアーではJICAが事業を実施している国際協力隊員の活動現場や地雷処理を行っている団体等への視察、またカンボジア現地で活躍している日本人やカンボジアの方と交流することで貴重な体験を得ることができます。

実施時期は平成26年2月中旬を予定しています。正式な日程等については10月を目安にHICとJICA中国のホームページに掲載する予定です。

国際協力や平和貢献に対する理解を深めていただく絶好の機会です。

皆様のご参加をお待ちしております。(河岡)



〒 730-0037

広島市中区中町 8-18 広島クリスタルプラザ 6階
Crystal Plaza 6F, 8-18 Nakamachi, Naka-ku, Hiroshima 730-0037, Japan

ご質問・ご意見などご遠慮なくお寄せください

Any questions, suggestions, and criticism regarding HIC Tsushin can be addressed to:

TEL : (082)541-3777 FAX : (082)243-2001

URL (Japanese) <http://hiroshima-ic.or.jp/>
(English) <http://hiroshima-ic.or.jp/hice>

E-mail:hic@hiroshima-ic.or.jp

